

フォト句会 23年2月度成績

開催日：2月8日(水)

時 間：15時30分～17時30分

場 所：渋谷区地域交流センター
代々木の杜

出席者：8名

写真出題：中 村

お題写真； チェロ弾き芸人（上野公園にて）



付け句（チェロ弾き芸人；出題；中村）

1) チェロの音や金色落葉と二重奏 大越 浩平

音色と葉の色のコラボを「二重奏」と詠んだ所が出色。

2) 五線紙の築地塀たあ洒落臭せえ 安藤晃二

うしろの塀の文様を五線紙になぞらえた、鋭い観察眼。

3) 今日上野明日は新宿セロ担ぎ 中村晃也

芸人のつぶやきを代弁。日銭を稼ぐのも楽ではなさそう。

あぶないので
さわらないで
ください

古民家の

温もり嬉し

冬の朝
(進一郎)





**南から溶け出してみゐる雪帽子
(晃也)**



食らいつきたし
泥つきの生足（正二）

浄土へと
旅立つ波止場
舟二艘（昌康）



自由題 寸評

1) 古民家の温もり嬉し冬の朝 長尾 進一郎

赤々と燃える火と立ち上る湯気。寒い日のほっとする光景。

2) 南から溶け出してゐる雪帽子 中村 晃也

右の石像ほど雪が少なくなっているのを、注意深く観察した句。

3) 食らいつきたし泥つきの生足 矢澤 正二

食らいつきたいのは大根？ 生足？ 破調の句としたのが成功。

4) 浄土へと旅立つ波止場舟二艘 松田 昌康

海の深い青、たなびく雲、奇岩。神秘的とも見える浄土ヶ浜。